



2022年11月4日

各 位

会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社  
代表者名 代表取締役 榊原 暢宏  
(コード：2453 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 取締役執行役員 若月 光博  
(TEL：052-212-9908)

### 取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社取締役会は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能の向上を図ることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その概要を下記のとおり開示いたします。

#### 記

##### 1. 分析・評価の方法

当社取締役会は、前年度に続き、社外役員を含む全ての取締役（監査等委員である取締役を含む）に対し、第三者の視点から客観的に当社の位置づけを認識するとともに、前年度比較での定点観測による改善状況の把握を目的として、取締役会の構成、運営、議論、モニタリング機能、取締役に対する支援体制、株主（投資家）との対話等を質問項目として、外部機関による Web アンケートでの調査とその分析、評価を行いました。

##### 2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、分析・評価の結果、概ね「取締役会の役割・責務を適切かつ実効的に果たしている」と結論づけました。

当社は、取締役会の監督機能のさらなる強化を目的として、監査等委員会設置会社へ移行し、本年においては、個別の業務執行決定を執行側に権限移譲してまいりました。これにより取締役会における審議は、より重要な議案に集中して行うことができるようになり、またその議論内容についても一定の評価がなされました。

他方で、取締役会のさらなるガバナンス強化に繋がる多様性の確保、後継者育成の課題への対応を見据えた報酬制度の設計、中長期的な企業価値創出のための ESG への対応や SDGs への取組みの経営戦略への反映など、継続した課題を確認いたしました。

##### 3. 今後の対応等について

当社取締役会は、重要課題への対応として、本日公表の「指名・報酬委員会の設置に関するお知らせ」の通り、取締役会の諮問機関である指名・報酬委員会を設置することを決議しております。また、サステナビリティ委員会等の重要会議とのさらなる連携を通じ、上記の課題へ取り組む中で、取締役会の一層の実効性向上に努めてまいります。

以上